

岸和田市議会議員候補者

宇野しんごさん（現職）



【質問1】

Q.子どもの権利条約について

A. 知ってる

【質問1-1】

Q. ①とお答えの方にお聞きします。「子どもの権利条約が国際連合で1989年に採択されてから34年、日本が批准してから29年になります。そのような中、岸和田市において、子ども権利条約が、子どもはもとより、おとなである市民にも十分に周知されているとは言えません。今後、子どもの権利条約に基づく子どもの人権や子どもの性（リプロダクション・生殖・命・性の関係性など）など、地域や校区で子どもに関わるおとなや教育の場で取り組むことについてどう思われますか？

A. 本市には市民協議会が各校区に設置されている。市民協議会の研修会などで取り組むべき。また、子どもに関しては発育状況に応じて慎重に対応すべきと考える。

【質問2】

Q. 子どもの現状に対し、課題だと思うことはなんですか？課題と、課題解決のための施策をお答えください。

A. 子育てがしにくい街というイメージが付き、若年人口が近隣自治体に流出していること。他の施策も重要だが、子どものための施策に予算を割り振るべき。

【質問3】

Q. 国では昨年、子ども基本法ができましたが、岸和田市でも子どもの権利を保障する子ども権利条例が必要だと思いますか？

A. いいえ

【質問3-1】

Q. 質問3ではいとお答えした方にお聞きします。理由をお答えください。

A. 条例とは本市の個別課題に対応する目的で作られるものです。現状子ども基本法に関する周知が十分ではありませんので、まずは市民の皆様への理解を広めたうえで、本市で更に対応が必要な課題について対応を考えたい。

【質問4】

Q. 岸和田市の親子のつどいのひろば（子育て支援センター）をご存じですか？

A. 知っている

【質問4－1】

Q. 岸和田市では2カ所の子育て支援センター（公・民）がありますが、同じ校区に（山側）位置しています。2カ所だけでなく全体を見通しての子育てサポートを充実するためにも増設することが必要だと思いますか

A. 必要

【質問5】

Q. 在宅での子育て（保育園や幼稚園・こども園に行っていない時期の在宅での子育て）の環境について改善する必要があると考えますか

A. ある

【質問5－1】

Q. 「ある」と答えた方は、上記環境が整備されていない原因は何だと考え、どのような取り組みが必要ですか

A. 少子高齢化が進み、子育ての相談などをする機会が減っている。  
LINEなどによる24時間の相談体制を構築したい。

【質問6】

Q. 岸和田市の子育て環境について（子育てをする上で、必要な地域資源や施設など）

A. 充実していない

【質問6－1】

Q. ②の充実していないとお答えした方にお聞きします。どのような取り組みをお考えですか

A. 各施設の老朽化が顕著である。耐震化対応などが行われているが、他市と比べると古く暗いイメージがある。人口減少や財政の関係から一定の統廃合はしなければならないが、集約化や多機能化によって時代に合ったサービスを提供できる公共施設を作っていきたい。

**【質問7】**

Q. 議員として子育て支援について取り組みたい施策は何ですか

A. 子どもたちのために感染症対策や ICT 教育などに対応した新しい学校やこども園の整備を行う。市民病院での小児科や産婦人科を今後も維持する。

※選挙期間中で回答が遅くなりまして大変申し訳ございません。拙い文章で恐縮です。今後ともよろしく願いいたします。